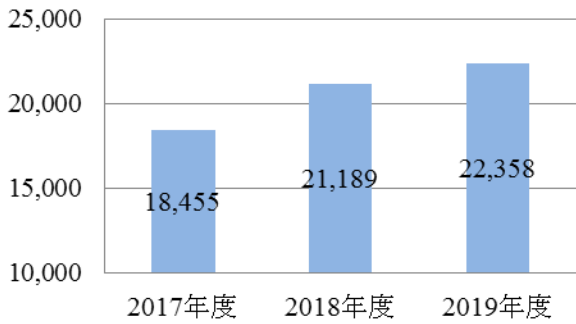
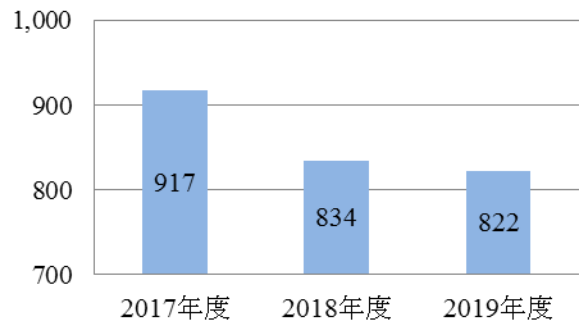


2-22 泌尿器科

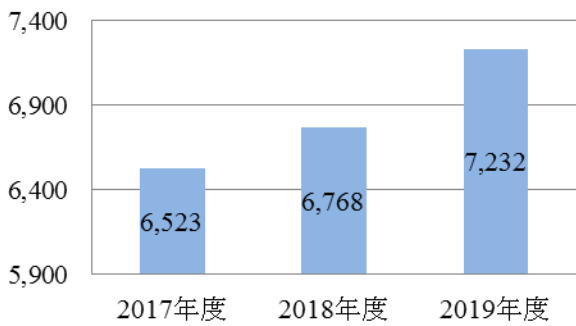
外来延患者数



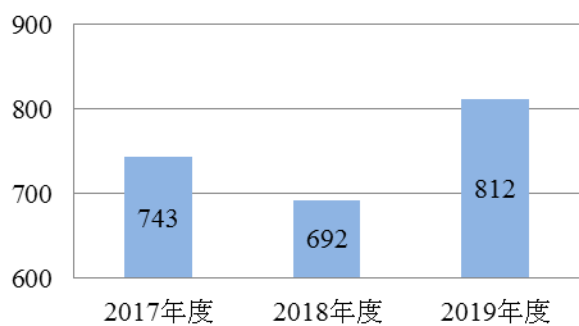
外来新患者数



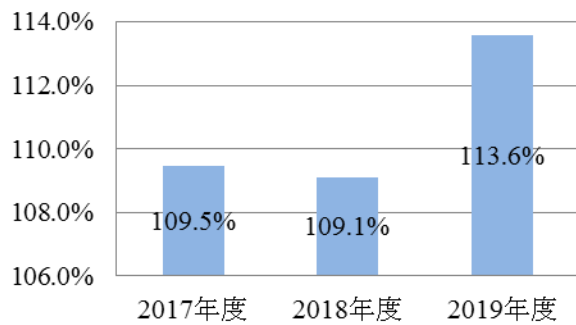
入院延患者数



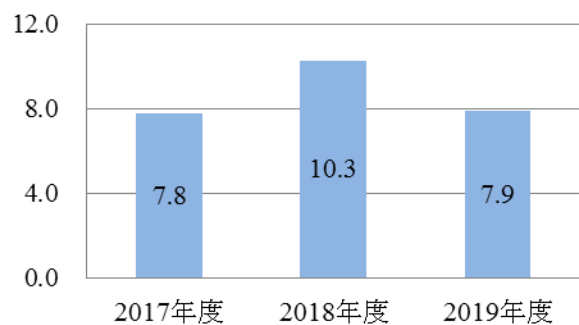
入院新患者数



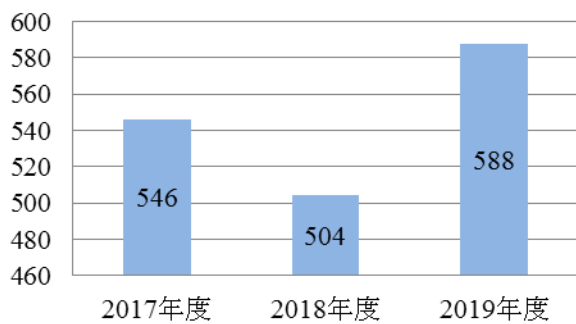
病床利用率



平均在院日数



手術件数



診療活動

外来患者数、入院患者数、手術件数が増加した。また緊急処置を要する症例が多く他病院から紹介されてきた。膿腎症に対する、ステント留置は、国内でも極めて多い施設である。

本年度から前立腺全摘にロボット手術を導入した。膀胱頸部温存および膀胱—尿道吻合での連続吻合がより確実になった。術後の排尿状態も良好で、入院期間も短縮した。

腹腔鏡下に副腎腫瘍、腎癌および腎盂尿管癌、前立腺癌の手術を行っている。褐色細胞腫など難易度の高い手術も行った。腹腔鏡下腎摘出は後腹膜アプローチが多かった。技術が安定し、合併症が少なかった

大きな腎癌に対して開腹で根治的腎摘除術を行っている。下大静脈浸潤のある腎癌には心臓血管外科と手術を行った。4センチ以下の小径腎癌では開腹による腎部分切除を積極的に行っている。

前立腺肥大症の手術に HoLEP 手術を導入し、48 症例行った。出血量、手術時間、術後のカテーテル抜去時間に著明な改善が見られた。また、術後の排尿状態は極めて良好で、失禁もほとんどなかった。

経尿道的尿管結石破砕術においては、細径の尿管鏡によるホルミウムヤグレーザーを用いて破砕している。硬性鏡だけでなく軟性尿管鏡も用いて腎結石の治療を行っている。手術時間の短縮および破砕率が向上した。破砕した結石も、器具で体外に取り出すようにしている。

診療実績

(1) 腹腔鏡下手術

腹腔鏡下副腎摘除術 11 例

腹腔鏡下腎摘除術 6 例

腹腔鏡下尿管全摘除術 9 例

ロボット補助下腹腔鏡下前立腺全摘除 20 例

(2) 開腹手術

根治的腎摘除術 6 例（下大静脈腫瘍塞栓1）

腎部分切除術 4 例

尿管全摘除術 1 例

膀胱全摘除術 9 例

前立腺全摘除術 5 例

高位精巣摘除 6 例

陰嚢水腫根治術 3 例

(3) 内視鏡手術

TUR-Bt 105 例

TUR-P 0 例

PVP 2 例

HoLEP 48 例
ESWL 21 例
TUL 71 例
PNL 0 例
尿管ステント留置 533 例
腎瘻造設 38 例

次年度目標

前立腺のロボット手術の件数を増加させる。膀胱全摘、腎部分切除にロボット手術を導入する。
尿管結石のレーザー手術を増加させる。女性泌尿器科の手術を開始する。
腹腔鏡手術の若手術者を指導する。

研究・教育活動

保健看護学部 授業

藤田和彦 泌尿器総論

藤田和彦 泌尿器非腫瘍性疾患

藤田和彦 泌尿器腫瘍性疾患

医学部 M4 授業

藤田和彦 尿路感染症、泌尿器救急、外傷

斎藤恵介 排尿障害・尿失禁・前立腺肥大症

2019 年 業績

原著

尿路感染症に伴う閉塞性腎盂腎炎における重症度予測スコア

今泉健太郎、藤田和彦、石川圭祐、野口尊弘、中島晶子、斎藤恵介、清水史孝、堀江重郎、日本泌尿器科学会雑誌。110. (2) 100-105、2019

遊走腎（腎下垂）

藤田和彦

今日の治療指針 2020

医学書院、東京

核病院へ長距離通院が必要な伊豆半島南部で PSA 検診導入と前立腺がん地域医療連携の構築をめざす。

藤田和彦、中島晶子、池田正見、吉田正

地域包括新時代 11. 10-13, 2019

学会発表

気腫性腎盂腎炎の治療方針

藤田和彦、白川智也、脇田春彦、増田奈々子、野口尊弘、中島晶子、
斎藤恵介、堀江重郎

第 84 回日本泌尿器科学会東部総会。ダイベートセッション 2、2019 年 10 月 4 日、お台場